

岩手県遊泳用プール安全・衛生等管理等指導要綱

(目的)

第1 この要綱は、多数人を遊泳させる公営・民営のプールの安全及び衛生の確保に関し、設置管理者（プールの所有者（所有者以外に施設の全部の管理について権原を有するものがあるときは当該権原を有するもの。）をいう。以下同じ。）の役割及び関係部局の連携等について必要な事項を定め、もってプールの安全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。

(設置管理者の役割)

第2 設置管理者は、「プールの安全標準指針」（平成19年3月文部科学省・国土交通省策定）により適切な管理運営等に努めるものとする。

2 学校教育法第1条に規定する学校に設置されるプール（以下、「学校プール」という。）の設置管理者は、学校保健安全法第6条第1項の規定に基づく学校環境衛生基準（令和2年12月15日文部科学省告示第138号）によりプールの衛生的な管理に努めるものとする。

3 前項に規定するプール以外のプール（以下、「一般プール等」という。）の設置管理者は、「遊泳用プールの衛生基準について」（平成19年5月28日付け健発第0528003号厚生労働省健康局長通知）によりプールの衛生的な管理に努めるものとする。

(学校プールに対する助言・指導)

第3 県教育委員会及び市町村教育委員会は、公立の学校プールについて、安全管理及び衛生管理の状況の把握に努め、適切に指導するものとする。

2 ふるさと振興部は、私立の学校プールの設置管理者に対し、プールの安全及び衛生を確保するために助言・指導をするものとする。

3 保健所長は、県及び市町村の教育委員会、ふるさと振興部並びに学校プールの設置管理者から求められたときは、プールの衛生を確保するために必要な助言・指導をするものとする。

(一般プール等に対する助言・指導)

第4 保健所長は、一般プール等の施設の状況について把握に努め、その内容を別紙「遊泳用プール調査票」に記録するものとする。

2 保健所長は、公衆衛生上必要があると認めるときは、設置管理者の同意を得て、職員をして、一般プール等の衛生措置の状況について設置管理者から必要な事項を聴取させ、又は当該施設に立ち入りさせ、衛生管理について助言・指導させるものとする。

(関係部局の連携)

第5 環境生活部、県土整備部、ふるさと振興部及び県教育委員会は、プールの安全及び公衆衛生の向上を図るため、連携・協力して対応するものとする。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年6月15日から施行する。